

# おはなし トレイン



## 3・4歳

### 『ママ、ママ、おなかがいたいよ』



レミイ・シャーリップ/さく  
バートン・サプリー/さく  
レミイ・シャーリップ/え  
つぼい いくみ/やく  
福音館書店

「おなかがいたいよ。」と叫ぶ子どものおなかが、風船のようにふくらんでいます。急いでお医者さんが調べると、おなかから釣り竿や鳥かごなど、驚くものが次々と出てきます。白黒と色付きのシルエット画が効果的に使われ、「ありえない!」と思いつつも、最後までわくわくしながらページをめくれます。

## 0～2歳

2023年7月



### 『ごぶごぶ ごぼごぼ』

こまがた かつみ  
駒形 克己/さく  
福音館書店

「ぷく ぷく ぷくん」「ざぶ ざぶ ざぶん」。擬音が続く、楽しい絵本です。シンプルな構成でありながら、多くの赤ちゃんを夢中にしていきます。ページには丸く穴が開いている箇所があり、触って楽しめる工夫がされています。またカラフルな色使いも魅力的で、初めての読み聞かせにおすすめです。

## 4・5歳

### 『はだしであるく』



むらなか りえ ぶん  
村中 李衣/文  
いしかわ え 絵  
石川 えりこ/絵  
あすなろ書房

夏の朝、カラスを追ってはだして歩いていくと、雨上がりの畑はぬかるんでぐにやり。アスファルトは小石がちくちく。歩く場所によって足裏の感じが違うことに気がつきます。川のせせらぎの中で目を閉じると大地と繋がっていく感覚が沸き起こり……。夏にぴったりなダイナミックでみずみずしい一冊です。

0～2歳



# 『だんごむし コーロコロ』

うみの 海野 あした/作  
はっこうしょ 発行所/アルファポリス  
はつばいもと せいりんしゃ 発売元/星雲社

おうちから出<sup>で</sup>てきただんごむしが、まあるくな<sup>い</sup>ってコーロコロ。ころがるたびに生きものたちがあらわ<sup>ら</sup>れます。さて、一体どんなことがおこるのでしようか。あざやかではっきりとした色合<sup>いろあ</sup>いは小さい子にもわかりやすくな<sup>い</sup>ています。どのページにもいるだんごむしを、み<sup>み</sup>つける楽しみもありますよ。

0～2歳



# 『カシャッ!』

きたむら じん さく 北村 人/作  
ポプラ社

「わらって わらって はいっ チーズ カシャッ!」。男の子がカメラを向けると、バナナやスイカ、おまめなど色々な食べものたちがにっこり笑顔になりました。おや? 牛乳をこぼしてしまった男の子はしょんぼり悲しい顔をしています。「カシャッ!」の音で笑ってくれるかな。親子で一緒に楽しめる絵本です。

0～2歳



# 『どんどんばしわたれ』

こばやし えみこ/案  
ましま せつこ/絵  
こぐま社

もと元は「とおりゃんせ」と同じ、「門くぐり遊び」のわらべうたです。明るく軽やかな語調は、乳幼児にも楽しく、馴染みやすいでしょう。♪どんどんばしわたれ さあわたれ こんこがでるぞ さあわたれ♪ 歩く楽しさをし<sup>し</sup>りはじめたお子さんと一緒に口ずさみながら、歩いてみてはいかがでしょう。楽譜も紹介されています。

0～2歳



# 『ずぼっじー』

たかはし ゆうじ さく 高橋 祐次/作  
こうだんしゃ 講談社

まるで砂場に指をずぼっと入れて、「じじじ」「じー」と線を描いているような気分になれる絵本です。シャベルや穴をよけて、川をじゃぶじゃぶわた<sup>わ</sup>り、山をぐるぐるまわ<sup>ま</sup>って先へいくと……。少しぼこぼこした手触りの紙は砂の感触を思い起こさせます。お子さんと一緒に、読んで、触って楽しんでください。

3・4歳



### 『せんろはつづくよ』

M.W. ブラウン/文  
J. シャロー/絵  
よだ じゅんいち やく  
与田 準一/訳  
いわなみしょてん  
岩波書店

2台の機関車が、西へ向かいます。どこへ着く  
のでしょ。う。「ぱふぱふ ぱふぱふ」「ちやくちやく  
ちやくちやく」と走る機関車の音を、お子さ  
んと声に出して楽しんでください。細い線の絵  
は、機関車が走る躍動感や、吹く風、降る雨を  
美しく伝えてくれます。1979年に発行され、世  
代を超えて親しまれています。

3・4歳



### 『あのほし なんのほし』

みき つきみ/文  
やなぎはら りょうへい/絵  
柳原 良平/絵  
こぐま社

「よるになったら みあげてごらん キラキラ あ  
のほし なんのほし」。リズムカルな文と親しみを  
感じられる切り絵で、四季折々の空に輝く星座  
を紹介した絵本です。春のおおぐま座、夏の  
三角、秋のカシオペヤ座、冬のオリオン座……。  
星に興味を持ち始めたお子さんに手渡す本と  
しておすすめてです。

3・4歳



### 『ちいさなヒッポ』

マーシャ=ブラウン/さく  
うちだ りさこ/やく  
かいせいしゃ  
偕成社

かばのヒッポは、とても好奇心旺盛です。お母  
さんたち大人のかばと一緒になら、どこでも安心  
していられます。ある日ヒッポがほんの少し群  
れから離れて遊ぼうとすると、何かが後ろから  
忍び寄る気配がしたのです。版画で描かれた  
動物たちは迫力いっぱい。親子の愛情を感じ  
る、ロングセラー絵本です。

3・4歳



### 『ぼくからみると』

たかぎ じんざぶろう  
高木 仁三郎/ぶん  
かたやま けん  
片山 健/え  
しよてん  
のら書店

夏休みの昼下がりに、よくんがひょうたん池で  
釣りをしています。そこへ、しょうちゃんが自転車  
でやってきました。ふたりの他にも魚やかいつ  
ぶりなど、たくさんの生き物が池のまわりにいま  
す。彼らの目にはいったい何が映っているので  
しょう？ 様々な生き物の目を通して見た、緑鮮  
やかで生命力あふれる世界が楽しめます。

4・5歳



## 『おとうとが おおきくなったら』

ソフィー・ラグーナ/文  
ジュディ・ワトソン/絵  
当麻 ゆか/訳  
徳間書店

弟のおとうとはまだ赤ちゃん。「ぼく」は、テオが早く大きくなって、ふたりで遊びたいと願っています。自転車でジャングルに行ったり、海辺で貝がらのお城をたてたり……。一緒にやってみよう。いことがどんどん膨らんでいき、ついには大冒険を夢見ます！ 迫力のある見開きの絵は、思わず自分も体験しているような気持ちになります。

4・5歳



## 『おばけのジョージ』

ロバート・ブライト/さく・え  
みつよし なつや  
光吉 夏弥/やく  
ふくinkanしよてん  
福音館書店

ジョージは、小さな家の屋根裏に住む小さなおばけ。毎晩同じ時間に階段を「みしり」、広間のドアを「ギー」といわせます。ところが、ある日家は修理され、おばけにとっては居心地の悪い音のならない家になってしまいました。著者の子どもたちのため1944年にかかれて以降、世界中の子どもに愛され続ける名作です。

4・5歳



## 『こねこのぴっち』

ハンス・フィッシャー/文・絵  
いしい ももこ/やく  
石井 桃子/訳  
いわなみしよてん  
岩波書店

こねこのぴちは、他の動物になりたくて、オンドリやヤギの真似をしますが、どれもうまくいきません。今度はあひるの真似をしたところ、大変な事に！ 長い間子どもたちに親しまれてきた、『こねこのぴっち』。リゼットおばあさんの素敵なお庭や、山のようにクリームがかかったケーキは、今でも子どもたちを魅了するでしょう。

4・5歳



## 『ウィリアムの子ねこ』

マージョリー・フラック/作・絵  
まさき るりこ/訳  
とくましよてん  
徳間書店

ある朝、ウィリアムは子猫を見つけると一緒に遊び、家に連れて帰りました。でも、お母さんに「ほかのおうちのねこかも」と言われ、子猫を警察署に届けます。すると、その猫の飼い主だという人が3人も現れたのです。本当の飼い主は一体誰なのでしょう？ 子どもの成長や幸せな気持ちを感じられる、心温まる物語です。